

令和2年度

飯綱町教育委員会事務の管理及び
執行状況の点検及び評価の報告書



飯綱町教育委員会

1、趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第 26 条の規定に基づき、教育に関する課題や取り組みの方向性を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図るとともに、町民への説明責任を果たすため、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検並びに評価（以下「点検・評価」という。）を行い教育に関し学識経験を有する者の知見を活用し、その結果に関する報告書を議会に提出し公表します。

2、点検・評価の対象

令和 3 年度の点検評価は、前年度である令和 2 年度分の事業実績を対象としました。

対象範囲は、地教行法第 23 条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務をはじめ、本教育委員会が所管するすべての事業で、このうち、本教育委員会作成の「令和 2 年度飯綱町教育委員会基本方針」における「方針と目標」の具体的実施事業の中から主なものを中心に対象としています。

3、点検・評価の方法

- (1) 令和 2 年度飯綱町教育委員会基本方針に基づき実施された事業の中から主なものを対象に点検及び評価を行いました。
- (2) 教育に関して学識経験を有する外部者からの総合的な意見を知見として掲載しました。
- (3) 点検・評価の結果については、定例教育委員会において審議しました。

※ 点検・評価の基準は次のとおりです。

〈評価の基準〉

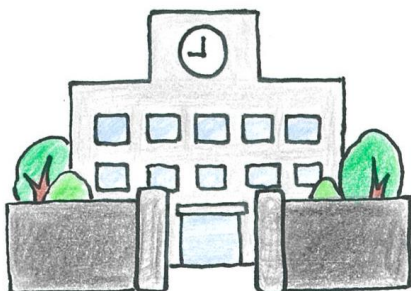
- A・・・目標以上の成果
- B・・・概ね目標の成果
- C・・・課題が残った

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 ～抜粋～

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。



《飯綱町の教育委員会基本方針》

方針と目標

方針1 個性を生かし共に学び合う学校教育の推進

目標 生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう

- (1) 確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
 - ① 知・徳・体の調和がとれ、生きる力を育成する教育の推進
 - ② 子どもの学びの機会と質の向上を保障
 - ③ 誰にでも気持ちよくあいさつができる子どもの育成
 - ④ 保小中の連携
 - ⑤ 教職員の力量向上と働き方改革
- (2) グローバル化社会への対応
 - ① ICTを活用した学習の推進
 - ② アクティブ・ラーニングの実践
 - ③ 次期学習指導要領への的確な対応
- (3) ふるさとを愛する心が育つ教育の推進
 - ① 体験型学習やキャリア教育の充実
- (4) 学校・家庭・地域の連携と協働の推進
 - ① 地域人材バンクの整備と飯綱町コミュニティスクール
 - ② 健康づくり週間、手作り弁当の日、ノーメディアデーの推進
 - ③ 家庭学習の手引きを活用

方針2 子育て・子育て環境の充実

目標 豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう

- (1) 子どもが生き生きと育つ環境づくり
 - ① 乳幼児期からの基本的な生活習慣の取得と心身の健康の推進
 - ② 未満児保育・障がい児保育の充実
 - ③ 子ども読書活動による情操教育の推進
 - ④ 安全・安心な放課後児童クラブの運営
 - ⑤ 児童虐待の未然防止と早期の対応
- (2) 楽しく子どもを育てられる環境づくり
 - ① 子育て支援センター事業の充実
 - ② ファミリーサポートセンター事業の充実
- (3) 子育てをしている女性への支援
 - ① 子育て世代の就労支援
 - ② 病後児保育事業による子育て支援の充実

方針3 スポーツ・芸術・文化活動の充実

目標 健全な心と体を育てよう

- (1) 多様な活動機会の創出
 - ① スポーツ活動や芸術文化活動の機会の創出
 - ② 地域団体が企画運営するスポーツ・芸術文化活動への支援
 - ③ スポーツ施設の充実
- (2) 文化の保存・継承・活用
 - ① 豊かな農産物や食文化への理解の促進
 - ② 文化財の保存、継承、活用の充実
 - ③ 文化遺産や芸術・文化に触れ、ふるさと愛を育むふるさとを愛する心の育成

方針4 自ら学び、共に学び、自己を高める

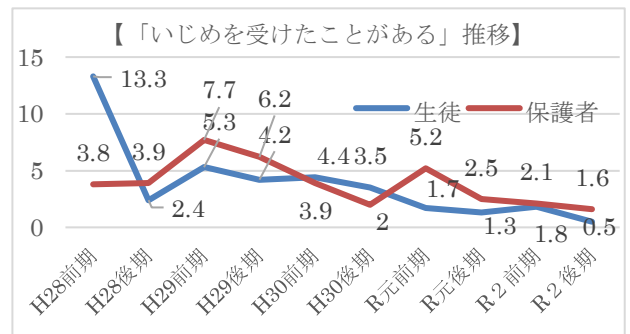
目標 学ぶ楽しさを分かち合い、夢を持ち活動の輪を広げよう

- (1) 多様な学習機会の創出
 - ① 生涯学習の充実
 - ② 生涯学習の成果を生かす機会の実現
 - ③ 図書館機能の充実
- (2) 生涯学習拠点の充実
 - ① 地域コミュニティの活性化
 - ② 地域学習の充実



4、点検・評価の結果

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう (1) 確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 ① 知・徳・体の調和がとれ、生きる力を育成する教育の推進
主な事業(活動)	①授業の工夫や学習支援体制づくり(牟礼小学校) ②読書の時間(牟礼小学校) ③児童理解、生徒指導の取り組み(牟礼小学校) ④朝の読書 ドリル学習(三水小学校) ⑤公開授業(中学校) ⑥学校自己評価アンケートといじめアンケート(中学校) ⑦安全・安心な給食の提供(学校給食係) ⑧旬の地域食材を用いた地産地消の推進(学校給食係)
評価	①B ②A ③B ④B ⑤B ⑥A ⑦A ⑧A
成果と課題	<p>①約2ヶ月間の休校により遅れた学習進度を、単元配列の組み替えや指導内容の軽重により、回復することができました。教師主導の一斉指導型の学習形態が多くなってしまいました。</p> <p>②本に親しんだり、静かに集中したりする時間となりました。感染対策も実施しながら、2学期からは「お話の会」や「かっこう文庫」の方による読み聞かせも実施できました。(牟礼小学校)</p> <p>③新型コロナウイルス感染拡大と休校の時期を経て、不安や健康的な生活習慣の乱れに起因すると思われる長期欠席や登校渋りが増加しました。SSW、SCとの相談機会の確保や心のチェックシート、学校生活アンケートの実施により、早期対応・早期発見に努めました。時間は要しますが、継続的な支援により、良い方向に向かうケースも見られました。また、いじめの重大事案はありませんでした。</p> <p>④コロナ禍のため休校または分散登校で、児童が不安を抱えていたが、週三回の朝の読書の時間や読み聞かせボランティア「おはなしの森」の活動が復活することで、落ち着いた状態で一日のスタートをすることができました。また、毎日のドリルの学習の時間は、欠落時数の補充ともなり、基礎基本の定着、学習時間の保障につながりました。</p> <p>⑤「質の高い関わり合い」を全校研究テーマに捉え、関わり合いの観点を明確にして、生徒にとって「必要感のある関わり合い」をさせるよう、指導を工夫してきました。また、授業の終盤に「振り返り」の時間を設定し、生徒が何を理解して、どこに課題があるのかを認識して、次の授業に臨めるようにしています。</p> <p>⑥年2回「学校自己評価アンケート」といじめアンケートを実施しました。学校評価アンケートには、少数ではありますが、「いじめや差別をうけたことがある」や、「安心して学校へ行くことができている」という回答がありました。毎週水曜日に「裁量」の時間や生徒相談月間を設定し、生徒がいつでも相談できる時間を設けていますが、担任、副担任だけでなく、部活動顧問等、全ての教</p>



	<p>師が日頃から生徒との対話を大切にし、生徒の小さな変化に気付くことができるようにしています。</p> <p>⑦文部科学省が定めた学校給食衛生管理基準に基づいた各種マニュアルを整備、適宜見直しを行っています。そのマニュアルに基づき、共同調理場の運営目標でもある「手づくりの安心・安全なおいしい給食」を実践し、食物アレルギーに対応した給食の提供も行っています。</p> <p>調理員の衛生管理やけが防止に対する意識が非常に高く、安全・安心なおいしい給食の提供に努めています。</p> <p>⑧学校給食における地域食材の納入については、野菜を中心に町内3か所の直売所から納品いただいています。また、果実はJAフルーツセンターを中心に、旬の時に納品いただいています。</p> <p>[主な町内産 100%食材] 飯綱米・さくらんぼ・梨・ブルーベリー・りんご・しめじ・味噌</p> <p>なお、学校給食で使用できる規格を確認いただく中で、今後も納品可能な食材を事前確認し、積極的に取り入れていきます。</p>
--	---

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	<p>生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう</p> <p>(1) 確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進</p> <p>② 子どもの学びの機会と質の向上を保障</p>
主な事業(活動)	<p>①奨学資金貸付制度(総務教育係)</p> <p>②就学援助費、就学奨励費(総務教育係)</p> <p>③小中学校教材費補助(総務教育係)</p> <p>④スクールソーシャルワーカーの派遣(総務教育係)</p>
評価	①A ②A ③A ④A
成果と課題	<p>①平成27年度制度発足から延べ21件の貸付となりました。令和2年度は1件の認定を行うとともに、2名の償還が始まりました。多くの方に制度を利用していただくよう、引き続き制度の周知を行っていきます。</p> <p>②経済的理由などから就学困難と認められる児童生徒や特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に、学用品などの費用を援助していますが、特に新入学児童生徒学用品購入については、入学前の2月に支給しています。</p> <p>③学校で使用する教材費について、児童一人当たり10,000円の補助を行い、保護者の負担軽減を図っています。</p> <p>④いじめ、不登校などの問題に対応するため、スクールソーシャルワーカーを各学校に派遣し児童生徒の相談活動を延べ344時間行いました。児童生徒の観察や相談、保護者、教職員からの相談に対応しています。必要な教育支援について、家庭、学校、地域での連携も図っていきます。</p>

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	<p>生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう</p> <p>(1) 確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進</p> <p>③ 誰にでも気持ちよくあいさつができる子どもの育成</p>
主な事業(活動)	<p>①あいさつ運動(牟礼小学校)</p> <p>②児童会活動 あいさつ当番 タンザニア支援(空き缶回収)(三水小学校)</p>
評価	①B ②A
成果と課題	<p>①児童会による毎朝のあいさつ運動やあいさつ強化月間を実施しました。職員からの声かけなどにより、あいさつのできる姿が広がってきました。地域の方へのあいさつは依然として課題となっています。学校運営協議会などでは、地域の大</p>

	<p>人から声がけをすることも大事との声もあがっています。</p> <p>②児童会活動を中心に、互いに目を合わせながら丁寧に「おはようございます」のあいさつが全校でできるように取り組みました。子ども同士の自主的な活動で、全校が目指す姿となるよう意識が高まりました。校内ばかりではなく、横断の際の車へのお礼のあいさつも地域の方から称賛していただくこともありました。継続しているアルミ缶回収によるタンザニア支援も、コロナ禍ではありましたが、可能な限り実施し、ボランティアの精神を育てる大事な活動として継続させることができました。</p>
--	--

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	<p>生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう</p> <p>(1) 確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進</p> <p>④ 保小中の連携</p>
主な事業(活動)	<p>①小中合同引き渡し訓練の実施(牟礼小学校)</p> <p>②保小連携 小中連携(三水小学校)</p> <p>③小中連携(中学校)</p>
評価	①A ②B ③A
成果と課題	<p>①引き渡し訓練を初めて合同で実施しました。いざ災害や非常事態となると必然的に対応は求められることであります。今後は保育園も含めた訓練も検討していきたいと考えています。</p> <p>②例年、運動会や音楽会では保育園児を招いて交流等してきましたが、コロナ禍となり児童園児の直接的な交流は図れませんでした。職員間で連絡を取り合いました。今後もできる内容で交流を続けていきます。</p> <p>③各小学校6年生の担任と連携して、外国語の出前授業を実施しました。児童の外国語への取り組み方や習熟度を知ることもできるよい機会でした。</p>

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	<p>生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう</p> <p>(1) 確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進</p> <p>⑤ 教職員の力量向上と働き方改革</p>
主な事業(活動)	<p>①町学習指導研究会の実施(牟礼小学校)</p> <p>②教職員の働き方改革(三水小学校)</p> <p>③教職員研修視察(三水小学校)</p>
評価	①A ②A ③A
成果と課題	<p>①コロナ禍で春は中止としましたが、秋は牟礼小学校で実施しました。各学年1公開授業参観により研修を深めました。小中の職員が共に学び合う貴重な機会となりました。気軽に授業を見合い学ぶ機会をさらに増やしていきたいと考えています。</p> <p>②コロナ禍で休校や分散登校中での業務を機に会議の精選や個々に働き方を見直し、管理職からも積極的な声がけを行い時間外勤務の削減に努めました。形骸化している業務、例えば朝会における伝達はC4THを利用し、児童理解の時間をとるなど、業務のスリム化と効率化を図っています。</p> <p>③休校中の時間を利用して、県内の先進的な取り組みをしている学校のみならず医療機関など学校以外の機関へも研修視察(4名)を行い、その内容を学校職員に伝え、教育活動に生かせる情報を共有することができました。</p>

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	<p>生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう</p> <p>(2) グローバル化社会への対応</p>

	① ICT を活用した学習の推進
主な事業（活動）	① 1人1台タブレット端末の整備並びに Wi-Fi 環境整備（総務教育係） ② ICT 活用の物的・人的環境（牟礼小学校） ③ タブレット端末や校内 Wi-Fi 環境の整備（三水小学校） ④ ICT の効果的な活用を図るための研修（中学校）
評価	① A ② C ③ B ④ A
成果と課題	① コロナウイルス感染拡大により加速化した GIGA スクール構想における 1人1台のタブレット端末の整備と Wi-Fi 環境整備が終了しました。今後は、端末の活用のため、学習ソフト等の整備と教職員のスキルアップに努めていきます。 ② 2ヶ月の休校期間中は、ICT を活用した学習支援はほとんどできませんでした。12月中に端末の整備が進められ、GIGA スクール構想における 1人1台端末を有効活用するための職員の知識・スキルを高めていくことが急務です。 ③ 端末の準備は行えたが、ソフトウェアやフィルタリングの導入等が決まっていなかったところでのスタートだったので、端末利用までには至りませんでした。まずスタートの段階で上記のことが決まっているとよかったです。 ④ 教育クラウドを利用した学習支援に関する研修を行い、実際にタブレット端末を使って、教育クラウドの活用方法を学びました。

方針 1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう (2) グローバル化社会への対応 ② アクティブ・ラーニングの実践
主な事業（活動）	① グループ学習 ICT の活用（三水小学校）
評価	① B
成果と課題	① コロナ禍の状況で密を避けながら「学び合い」をする環境を整えてきましたが、今までやってきたようなグループ活動ができませんでした。教師の考え方の変換が必要です。一方、ICT 化してきていて、タブレットを活用することで意欲を高めながら教え合う場が、生まれてきています。

方針 1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう (2) グローバル化社会への対応 ③ 次期学習指導要領への的確な対応
主な事業（活動）	① 小学校への町費外国語支援講師の派遣（総務教育係） ② 外国語専科、ALT の加配（牟礼小学校） ③ 町費外国語指導員の指導 新教科書の教材研究（三水小学校） ④ 新学習指導要領への的確な対応（中学校）
評価	① A ② A ③ B ④ B
成果と課題	① 外国語活動、外国語の授業を充実させるために、町費で外国語支援講師を配置し小学校 2 校のサポートを行いました。また、ALT を小・中学校にそれぞれ 1 名配置し、小学校の外国語活動、中学校の外国語授業のサポートを行いました。小学校 3、4 年生は年間 35 時間の外国語活動、5、6 年生は年間 70 時間の外国語の授業を実施しました。今後も引き続き、小学校での外国語授業へのスムーズな移行ができるよう、英語専科を配置していきます。 ② 町独自に外国語専科講師と ALT の配置をいただき、英語を中心とした言語活動によるコミュニケーション力や外国文化を学ぶ充実した時間となっています。外国語専科講師は期限付き任用のため、学級担任の指導力向上のための研修としても学ばせていただいています。

	<p>③町費外国語専科講師やALTとクラス担任が打合せを十分にすることによって、教材への理解を深めるとともに、教員の外国語学習の指導力を向上させています。</p> <p>④生徒の思考力・判断力・表現力を高めるために、生徒同士が「質の高い関わり合い」ができる場面を設定するようにしています。また、全教科、外部指導者を招聘した公開授業を実施し、授業改善を図りました。</p>
--	---

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	<p>生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう</p> <p>(3) ふるさとを愛する心が育つ教育の推進</p> <p>① 体験型学習やキャリア教育の充実</p>
主な事業(活動)	<p>①ふるさと学習の充実(牟礼小学校)</p> <p>②いっぴなっこ学習 人・ものリストの作成(三水小学校)</p> <p>③総合的な学習の時間(中学校)</p>
評価	①A ②A ③A
成果と課題	<p>①多くの地域の方のご協力をいただき、町を代表する産業である米とりんごを始めとする農作物の栽培活動を体験したり、町の歴史や文化を学んだりすることができました。また、「わくわく未来塾」を開講し、地元の著名人から仕事や生き方について学ぶことができました。</p> <p>②いっぴなっこ学習に関わる人材・素材リストを見直し加筆しました。子どもたちから出た地域についての関心を、地域学習につなげました。その結果、6年生の竪穴式住居づくりの資材の協力者探しなど、子どもたちが意欲的に活動する姿が見られました。また、地域の方に、地域特有の歴史・行事・習慣等を詳しく説明していただくことによって、さらに発展的な学びへと広がっていくことができました。</p> <p>③1学年「地域学習」、2学年「職場体験学習」(キャリア教育)、3学年「私の飯綱町」(主権者教育)をテーマに捉え、各学年とも地域の「ひと・もの・こと」から学び、発信することができました。</p>

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	<p>生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう</p> <p>(4) 学校・家庭・地域の連携と協働の推進</p> <p>① 地域人材バンクの整備と飯綱町コミュニティスクール</p>
主な事業(活動)	<p>①文科省型コミュニティスクールへの移行(総務教育係)</p> <p>②地域連携や交流(三水小学校)</p> <p>③美術クラブの地域との関わり(中学校)</p>
評価	①B ②B ③A
成果と課題	<p>①今年度より、これまでの信州型コミュニティスクールから文科省型コミュニティスクールに移行しました。当初は各校年4回の学校運営協議会を行う予定でしたが、コロナウイルス感染症の影響で年2回の開催となりました。地域住民や保護者の学校運営への参画や地域住民による学校運営への支援・協力を促すため、今後も広く学校運営に関わっていただいています。</p> <p>②コロナ禍のため地域連携交流等は行うことができませんでしたが、5学年ではだんだりの会の方と田植えを行ったり、3学年では、地域の方からヤギをお借りし、飼育体験を1ヶ月行いました。</p> <p>③町社会福祉協議会と連携しながら、美術クラブの生徒が地域のお年寄りに絵手</p>

	紙を書いて送る活動を行いました。生徒の作品はメーラプラザにも展示していただきました。また、ZQ（ずく）と協力し、ZQの窓を装飾する活動も行いました。
--	--

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう (4) 学校・家庭・地域の連携と協働の推進 ② 健康づくり週間、手づくり弁当の日、ノーメディアデーの推進
主な事業（活動）	①メディアを考える日の推進（生涯学習係） ②健康づくりにかかわる連携した取り組み（牟礼小学校） ③お弁当の日（三水小学校） ④親子で体幹トレーニング（三水小学校） ⑤健康づくり週間（中学校）
評価	①B ②B ③A ④A ⑤B
成果と課題	①子ども読書活動推進委員会を中心に、年3回メディアを考える日を設け読書活動の推進も兼ねて実施しました。子どもが本を身近に感じ、豊かな読書活動を続けていくための環境づくりに努めていきます。 ②活動が定着してきている半面、イベント的になってきています。もう一度スタート時の思いやねらいを理解したり、時代や実態に合った活動に見直したりするなど、意義のある活動としていきます。 ③栄養教諭による事前指導を行い、コロナ感染予防に配慮しながら、子どもや家庭の実態に応じて、無理なく子どもがお弁当作りに関われる内容で実施しました。 ④学校保健委員会で「親子で体幹トレーニング」の講演を行い、コロナ禍でもできる運動を指導していただきました。ステイホームではあっても、体を動かし健康維持に努めようとする意欲をもつことができました。 ⑤新型コロナウイルス感染症による休校措置から学校生活が再開後、間もない時期だったため、健康チェックシートを活用しながら生徒の生活リズムを整えるよい機会となりました。

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう (4) 学校・家庭・地域の連携と協働の推進 ③ 家庭学習の手引きを活用
主な事業（活動）	①家庭学習の手引き（三水小学校）
評価	①B
成果と課題	①4月当初に、コロナ禍の中であっても学びを止めないよう、家庭学習の手引きをもとに教師間の意思統一を図り、家庭学習の内容や量を考え合いました。そのため通常の学校生活に戻った時に、必要な補充学習もスムーズに行うことができ、年度の学習内容を網羅することができました。ただ、その後は担任任せとなっていました。通常の日課になっても、定期的に職員全体で見直していくことも必要だと思います。

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう (1) 子どもが生き生きと育つ環境づくり ① 乳幼児期からの基本的な生活習慣の取得と心身の健康の促進

主な事業（活動）	<p>①妊婦、乳幼児の教室、健康相談の実施（子育て支援係）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診（1歳児半・3歳児）後の保健師によるフォロー支援 ・長野県立大学健康発達学部と連携し、わくわく子育て講座の開催 ・子育て支援アプリ「すこやか☆いづな♪ナビ」による子育て情報の発信強化 <p>②子育て応援祝い事業（子育て支援係）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに子どもが生まれた家庭に祝い金を支給しました。 （第1子5万円、第2子7万円、第3子以降20万円） ・新たに子どもが生まれた家庭に記念品を支給しました。 （町内企業13社による誕生記念品カタログ 30品掲載）
評価	①A ②A
成果と課題	<p>①妊娠期からの切れ目のない支援のために、各種教室や相談事業を通じて、個々の実情に応じた支援を行いました。妊娠、出産、子育て期の悩みについては、様々な背景を抱えた保護者がいる中で、小さなSOSをしっかりとキャッチし、より適切な支援に繋げるように努めます。</p> <p>②誕生記念品カタログは町内企業の個性豊かな商品で構成し好評です。また、子育て世代に町内企業を紹介する産業振興の側面性があります。今後も参画事業者の拡大に努め、保護者の要望を取り入れたカタログの作成に努めていきます。</p> <p>また、子ども・子育て応援会議で意見を伺い、令和3年度から一律20万円の支給とするよう条例改正を行いました。今後は制度の周知とともに、基金の積立（財源）もあわせて行っていく必要があります。</p>

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	<p>豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう</p> <p>（1）子どもが生き生きと育つ環境づくり</p> <p>② 未満児保育・障がい児保育の充実</p>
主な事業（活動）	<p>①未満児・障がい児保育への加配保育士等配置（保育園）</p> <p>②はぐくみサポートセンター事業等の実施（総務教育係）</p>
評価	①A ②B
成果と課題	<p>①3歳未満児については、令和2年度3園で64名を受入れました。また、障がい児保育については、加配保育士や補助保育士を配置し支援を行ってきました。入園希望者をできるだけ受け入れることとしていますが、保育士の確保、保育スペースの確保など、環境整備や人員確保が課題となります。</p> <p>障がい児保育においては、一人ひとりの子どもの発達過程や心身の状態を把握するとともに障がいに対する理解を深め、障がいのある子どもが他の子どもたちと一緒に生活を送ることにより、共に成長できるよう加配保育士を配置し支援を行いました。</p> <p>②発達障がい等、特別な配慮を必要とする子どもたちの早期発見・早期支援と一貫性・継続性のあるサポートを行うため、障がい者支援の専門機関に委託し、支援にあたっています。令和2年度はコロナ禍により事業を縮小しての支援となりました。また、5歳児相談事業では保護者の相談の場を設けて、就学に向けての準備と、園での過ごし方について、専門家からアドバイスをいただいています。今後も保護者に寄り添い、関係機関と連携して継続した支援を行い、また、保護者への発達障がい等に対する理解や意識の啓発をさらに図っていきます。</p>

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	<p>豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう</p> <p>（1）子どもが生き生きと育つ環境づくり</p> <p>③ 子ども読書活動による情操教育の推進</p>
主な事業（活動）	①4ヶ月、3歳児、6歳（入学前）幼児への図書への贈呈（生涯学習係）

	②メディアを考える日の実施（年3回）（生涯学習係） ③第2次飯綱町子ども読書推進計画の策定（生涯学習係）
評価	①A ②A ③A
成果と課題	①②それぞれの発達時期に合わせた絵本を贈呈するなど、今年度も計画通り実施できました。今後も、子ども読書活動推進委員会が主体となって実施している、「メディアを考える日」や「図書館まつり」などの機会を捉えて、子どもたちが本と親しむきっかけづくりに努めていきます。 ③第1次計画の成果や課題を検証し、社会環境の変化を踏まえて令和3年度から令和7年度までの5か年を計画期間とする第2次計画を策定しました。本計画では、これまでの取り組みを継続するとともに、読書活動を推進するための人材育成、ボランティアの養成に一層力を入れ、より良い読書環境の整備等に取り組んでいきます。

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう (1) 子どもが生き生きと育つ環境づくり ④ 安全・安心な放課後児童クラブの運営
主な事業（活動）	①5つの児童クラブの運営（こども保育係）
評価	①A
成果と課題	①5カ所の児童クラブで延べ24,202名の子どもを受入れました。 本年度は2か月間の学校休業がありましたが、その間も児童クラブを開所し、家庭で見守りができない子どもたちを児童クラブで預かりました。感染予防に細心の注意を払い、子どもたちの安全を確保しています。 今後は、課題となっている指導員の確保に引き続き取り組むとともに、5カ所の児童クラブでの利用者の偏りがありますので、効率的な運営方法を検討していきます。

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう (1) 子どもが生き生きと育つ環境づくり ⑤ 児童虐待の未然防止と早期の対応
主な事業（活動）	①関係機関等との連携による未然防止と早期対応（子育て支援係） ・保健師による新生児訪問及び乳幼児健診、各種教室等での児童虐待防止啓発と、広報による定期的な児童虐待防止の啓発 ・要保護児童地域対策協議会や実務者会議での情報共有、連携 ・児童相談所と定期的な情報交換
評価	① A
成果と課題	① 児童虐待に関わる関係者の会議として、 ② 要保護児童対策地域協議会を設け、 代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議で適切な支援内容の検討・実施をしています。実務者会議で全てのケースの情報（支援の経過や問題点等）を共有し、児童相談所をはじめとした関係者と連携し、見守りや支援を継続していきます。

【児童虐待対応状況】			
	対応件数	継続件数	終結件数
H28	5	5	0
H29	12	10	2
H30	13	9	4
R元	10	10	0
R2	10	2	8

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう (2) 楽しく子どもを育てられる環境づくり ① 子育て支援センター事業の充実

主な事業（活動）	①子育て世代支援施設建設検討委員会で検討を重ね、ふれあいパーク内に新たな子育て拠点を新設しました。また、検討委員会で施設運営に関しても検討しました。新施設は、iワーク、子育て支援センターの各機能に加え、母子保健機能（産婦検診及び乳幼児健診等）が1つの施設になることによって、妊娠期から子育て期に亘るワンストップ化を図り、仕事、起業、交流、相談、学習、育児発達などの支援が期待されます。（子育て支援係） ②父親の育児への積極的な参加（子育て支援係）
評価	①A ②B
成果と課題	①現在の子育て支援センター、ワークセンターの各機能に加え、母子保健機能（乳幼児健診及び各種教室等の実施）を併せ持つことにより、利用対象者が大幅に拡大し、各種支援施策の展開・浸透が可能となりました。子育て・仕事・相談・交流等のイノベーションが期待されます。 また、新しい子育て支援施設の開設に向け、新しい施設機能が十分に発揮されるよう、従来のイベントや行事、プログラムや支援の内容等を再検討し、親子が安心して過ごせ、より楽しく子どもと関われる子育ての支援拠点としての運営を目指します。 なお、今後は施設の利用状況をみながら、合理的な施設の運営管理方法や利用基準、職員配置計画などを行っていきます。 ②就学前の幼児と保護者を対象に、遊びの場、交流の場の提供をはじめ、子どもの成長段階に応じた発達・発育・育児・悩み事等の相談・助言を行いました。また、父親の積極的な育児への参加の促しと、家族力を向上させる事業の企画・運営を行うとともに、子育てに関する様々な情報の発信と子育て支援施策のPRを行いました。今後は、イクメンパパの会の事業だけでなく、父親の参加を促す事業を増やしていきます。父親も参加できる沐浴体験など、父親が育児に関わる環境づくりに努めていきます。

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう (2) 楽しく子どもを育てられる環境づくり ② ファミリーサポートセンター事業の充実
主な事業（活動）	①事業周知と提供会員の勧誘（子育て支援係） ②依頼会員と提供会員とのマッチング（子育て支援係）
評価	①B ②B
成果と課題	①②子育てを地域で助け合う会員組織として運営しています。会員登録は、依頼会員19人、提供会員16人、両方会員1人となっています。依頼会員からの託児等の要望はありますが、提供会員とのマッチングが出来ず、令和2年度の利用はありませんでした。特に託児については、会員の自宅で託児が行われるため、双方に不安感があります。今後は、新設される子育て支援センターを託児の場所として利用いただくなど、会員も子どもも安心して安全な託児が行える環境を整えていきます。

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう (3) 子育てをしている女性への支援 ① 子育て世代の就労支援
主な事業（活動）	①子育てと仕事の両立に関する講座の開催（子育て支援係） ②お仕事マッチングイベントの開催（子育て支援係） ③専門スタッフによる託児業務（子育て支援係） ④在宅ワークを活用した多様な働き方の推進と定期イベント（iママフェスタ、お仕事マッチング）の開催（子育て支援係）

評価	①A ②B ③A ④B														
成果と課題	<p>①コロナ禍ではありましたが、個人事業主のための税セミナーなど全3回の講座を開催しました。今後も、子育てと仕事の両立を目指すママさんのための講座を開催していきます。</p> <p>②ママさんの労働力を取り入れたい企業と、働く意欲のあるママさんをつなぐ場の提供と働きの学びの場として開催しました。参加企業11社、参加ママ18人、託児5人と、コロナ禍での開催となりましたが、企業、ママさんともに有意義な場となりました。今後も引き続き開催し、参加企業の拡大を図りながら実施していきます。</p> <p>③ワークセンターの利用者が、安心して子どもを預けて仕事に集中してもらえよう、町内の子育て中の女性6名を、町内の雇用促進施策も兼ねて託児パート保育士として雇用しています。新しくなるワークセンターでも引き続き安心して子どもを預け仕事に集中していただけるよう努めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【ワークセンター利用状況】</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td></td> <td></td> <td>利用延べ人数</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">相談室</td> <td>企業</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>求職者</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ワークスペース</td> <td>736</td> </tr> <tr> <td colspan="2">託児スペース</td> <td>574</td> </tr> </table> <p>④4回目となるiママフェスタは、コロナ禍によりオンライン配信による開催となりました。子育て中の女性が趣味や特技を仕事にし、自分らしい働き方を楽しみながら学べる場としての位置づけは変えず、オンライン上でその活動をPRする手法で開催しました。また、急速に進むオンライン化に対応できるように、ズーム体験や子どもと一緒にできる体操・料理の紹介などの配信を行い、延べ700人程の視聴をいただきました。毎年工夫を凝らし、継続して実施していきます。</p>			利用延べ人数	相談室	企業	6	求職者	18	ワークスペース		736	託児スペース		574
		利用延べ人数													
相談室	企業	6													
	求職者	18													
ワークスペース		736													
託児スペース		574													

方針2	子育て・子育て環境の充実																									
目標	豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう (3) 子育てをしている女性への支援 ② 病後児保育事業による子育て支援の充実																									
主な事業(活動)	①「病後児保育室はぐくみ」による就園前乳幼児の病後児保育事業の運営 (子育て支援係)																									
評価	①B																									
成果と課題	<p>①長野地域連携中枢都市圏の利用施設として、町外児登録など近隣市町村と連携しました。コロナ禍により利用者は前年よりも減少しましたが、保護者の急な利用申し込みにも出来るだけ対応するよう、引き続き努めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【病後児保育室利用状況】</p> <table border="1" style="float: right;"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録申込児数</th> <th>予約日数</th> <th>利用日数</th> <th>利用児数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>45人</td> <td>4日</td> <td>2日</td> <td>実1人・延2人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>21人</td> <td>7日</td> <td>6日</td> <td>実5人・延8人</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>25人</td> <td>5日</td> <td>5日</td> <td>実4人・延5人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>17人</td> <td>2日</td> <td>2日</td> <td>実1人・延2人</td> </tr> </tbody> </table>		登録申込児数	予約日数	利用日数	利用児数	H29	45人	4日	2日	実1人・延2人	H30	21人	7日	6日	実5人・延8人	R元	25人	5日	5日	実4人・延5人	R2	17人	2日	2日	実1人・延2人
	登録申込児数	予約日数	利用日数	利用児数																						
H29	45人	4日	2日	実1人・延2人																						
H30	21人	7日	6日	実5人・延8人																						
R元	25人	5日	5日	実4人・延5人																						
R2	17人	2日	2日	実1人・延2人																						

方針3	スポーツ・芸術・文化活動の充実
目標	健全な心と体を育てよう (1) 多様な活動機会の創出 ① スポーツ活動や芸術文化活動の機会の創出
主な事業(活動)	①公民館活動(生涯学習係) ②コロナ対策を講じながらできることを(牟礼小学校)
評価	①B ②A
成果と課題	①公民館活動として各種大会や講座を開催し、スポーツや芸術文化活動を推進し

	<p>ています。今年はコロナ禍により、本館・分館ともに活動自粛となりましたが、引き続き身近な活動の機会として推進していきます。</p> <p>②運動会規模縮小、音楽会中止の決断を余儀なくされた年でありました。コロナ対策を講じながらできる活動を模索しました。運動会ではダンスの取り組みが評価され、NHKの番組に。音楽会の代替えとして、学年単位の音楽発表会を実施しました。WITH コロナ時代のスポーツ、文化行事のあり方を探る年でした。</p>
--	--

方針3	スポーツ・芸術・文化活動の充実
目標	<p>健全な心と体を育てよう</p> <p>(1) 多様な活動機会の創出</p> <p>②地域団体が企画するスポーツ・芸術文化活動への支援</p>
主な事業(活動)	①スポーツ協会教室運営等及び文化活動への補助(生涯学習係)
評価	①B
成果と課題	①町スポーツ協会及びいっぴなスポーツクラブ等の団体に対し、事業運営や大会等への補助支援を行っています。また、文化活動では、町文化協会の舞台や展示発表等の活動支援、その他芸術文化団体への補助支援を行っています。本年度はコロナ禍により事業の中止や縮小などがありましたが、今後も、スポーツ・芸術文化団体への支援を通じ、町のスポーツ・芸術文化活動の充実を図っていきます。

方針3	スポーツ・芸術・文化活動の充実
目標	<p>健全な心と体を育てよう</p> <p>(1) 多様な活動機会の創出</p> <p>③スポーツ施設の充実</p>
主な事業(活動)	①社会体育施設や学校施設の開放(生涯学習係)
評価	①B
成果と課題	①学校の体育館など学校施設の一部を開放し、社会体育事業の推進を行っています。また、ふれあいパークや三水屋内ゲートボール場などの社会体育施設も多くの町民に利用いただいています。令和2年度からはふれあいパーク内にマレットゴルフ場を整備し、町民の健康増進と地域コミュニティの場として運営しています。施設の老朽化も課題となっていますので、利用者が安心して安全に利用できるよう、計画的に整備を進めていきます。

方針3	スポーツ・芸術・文化活動の充実
目標	<p>健全な心と体を育てよう</p> <p>(2) 文化の保存・継承・活用</p> <p>① 豊かな農産物や食文化への理解の促進</p>
主な事業(活動)	<p>①関係機関と連携した食育推進事業</p> <p>②旬の地域食材を用いた地産地消の推進(学校給食係)</p> <p>③田んぼ体験、学級園での活動(三水小学校)</p>
評価	①B ②B ③B
成果と課題	<p>①小中学校では、学校給食共同調理場の栄養教諭が、各保育園でも管理栄養士が中心となり、食育を推進しています。また、コロナ禍で本年度は中止となりましたが、いっぴなっ子クラブの調理クラブでも郷土料理や伝統食の調理を通じ、子どもたちに食育活動を行っています。引き続き関係機関との連携や各種事業などを通じ、推進していきます。</p> <p>②学校給食に飯綱町産食材を活用することにより、食材を通じて町の自然や文化、産業等の理解を深めてもらうよう推進しています。米・味噌については、100%町内産を使用し、その他の食材についても町内直売所やJAの協力を得て、できる限り町内産を使用するよう努めています。現在は、野菜・果実が中心となっていま</p>

	<p>すが、関係機関と連携し、地元食材導入の推進を図っていきます。</p> <p>③新型コロナウイルス感染防止のため、校内での調理等はできませんでしたが、学年ごと地域の指導者から支援を受けながら農作物（大豆・りんご）を育てました。特にだんごりの会のみなさんからは、飯綱町特有の食文化（箱膳・四季の郷土食・みそ作り等）のいわれや歴史などを学びました。田んぼの学習の際には「おこびれ」を頂き、これまで地域で育まれた食文化の大切さを、実感をもって体感し、子どもたちがこれからも食文化を大切に繋げていこうとする意識を持つことができました。</p>
--	---

方針3	スポーツ・芸術・文化活動の充実
目標	<p>健全な心と体を育てよう</p> <p>(2) 文化の保存・継承・活用</p> <p>②文化財の保存、継承、活用の充実</p>
主な事業（活動）	① 文化財の調査、指定、保護、活用と歴史ふれあい館の展示、調査、教育普及活動の充実（生涯学習係）
評価	①A
成果と課題	<p>①文化財保護法および県・町条例に基づく指定文化財の適切な保護管理と活用を行うとともに、すでに発掘調査を実施した埋蔵文化財の資料整理と調査報告書の編集を行いました。さらに、合併15周年記念特別展は次年度へ延期しましたが、事前準備として『飯綱町の文化財』の図録を刊行しました。</p> <p>また、歴史ふれあい館は、飯綱町の誕生に対応した展示の拡充や更新が進んでおらず、施設や展示等のハード面とともに、講座や学習支援などのソフト面において、さらなる工夫と改善が必要となっています。令和2年度は、町内外の有識者の方々からなる「いいづな歴史ふれあい館協議会」の3回の会議を通して、館内の展示や館の機能向上のための幅広い検討を行いました。併せて、年度末には「館のリニューアルに向けた方針案“町の歴史文化の拠点づくり構想”を取りまとめました。今後は、この構想に基づき5年を目途にリニューアルを徐々に進めていきます。</p>

方針3	スポーツ・芸術・文化活動の充実
目標	<p>健全な心と体を育てよう</p> <p>(2) 文化の保存・継承・活用</p> <p>③文化遺産や芸術・文化に触れ、ふるさと愛を育むふるさとを愛する心の育成</p>
主な事業（活動）	①いいづな歴史講座、学習支援、講師派遣等（生涯学習係）
評価	①A
成果と課題	①年間を通じて町内の各種団体等からの講師派遣依頼や学校における学習支援依頼に応え、地域の自然・歴史・文化に関する講演・学習支援等を行いました。また、コロナ禍により感染防止に注意しながらの開催になりましたが、いいづな歴史講座を開催し、町の歴史について伝える機会を設けています。延べ1400名を超える参加者がありました。引き続き町の歴史・文化に触れる機会の提供に努めていきます。

方針4	自ら学び、共に学び、自己を高める
目標	<p>学ぶ楽しさを分かち合い、夢を持ち活動の輪を広げよう</p> <p>(1) 多様な学習機会の創出</p> <p>①生涯学習の充実</p>
主な事業（活動）	<p>①いいづな大学・いいづな教室等の開催（生涯学習係）</p> <p>②中学校講堂開放、及び講座の実施（生涯学習係）</p>
評価	①C ②C

成果と課題	<p>①近年、いろいろな大学・いろいろな教室ともに受講生は増加傾向にありましたが、令和2年度はコロナ禍により受講者の募集は行いましたが、開催は中止としました。学びの場としてはもちろんのことコミュニティの場としても参加を希望される町民が多いことから、内容の充実を図りながら継続していきます。</p> <p>②中学校講堂の開放については、出初式、成人式、講座等町主催行事において積極的に利用促進を図っています。また文化協会のイベント等文化活動団体へのPRによりここ数年利用が増えてきています。ただ、令和2年度はコロナ禍により活動自体が出来なかったため、利用はほとんどありませんでしたが、今後も施設の有効活用に努めていきます。</p>
-------	--

方針4	自ら学び、共に学び、自己を高める
目標	<p>学ぶ楽しさを分かち合い、夢を持ち活動の輪を広げよう</p> <p>(1) 多様な学習機会の創出</p> <p>②生涯学習の成果を生かす機会の実現</p>
主な事業(活動)	①いろいろな教室受講者等による発表(生涯学習係)
評価	①C
成果と課題	<p>①例年だと、いろいろな教室で学んだことを舞台や展示発表の場を設け、受講生の学習意欲を高めています。令和2年度はコロナ禍により開催できませんでした。また、町文化協会まつりも教室での学びの成果を発表する場となっていました。こちらも開催することができませんでした。コロナ感染症の状況を見ながら、学習の場の提供とさらなる学習意欲の向上につながる発表の場の提供に努めていきます。</p>

方針4	自ら学び、共に学び、自己を高める
目標	<p>学ぶ楽しさを分かち合い、夢を持ち活動の輪を広げよう</p> <p>(1) 多様な学習機会の創出</p> <p>③図書館機能の充実</p>
主な事業(活動)	<p>①公民館図書室の充実(生涯学習係)</p> <p>②中学校図書館の充実(生涯学習係)</p>
評価	①B ②B
成果と課題	<p>①公民館図書室については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/16~5/11まで閉館期間がありましたが、貸出冊数を3冊から10冊に変更し利用者の利便を図ったことから、年間の貸し出し数が増えました。今後、インターネット蔵書検索システムの構築や施設の充実を検討していくほか、県立図書館の蔵書相互貸借サービスやインターネット貸出サービスの利用促進など、住民が利用しやすい図書運営に努めていきます。</p> <p>②中学校図書館は、町民に図書の貸し出しや学習の場として開放を行っています。図書館は現在放課後と休日の開放となっていますが、授業中などの平日の昼間の開放もできないか、検討を進めていきます。</p>

方針4	自ら学び、共に学び、自己を高める
目標	<p>学ぶ楽しさを分かち合い、夢を持ち活動の輪を広げよう</p> <p>(2) 生涯学習拠点の充実</p> <p>①地域コミュニティの活性化</p>
主な事業(活動)	①分館活動を支援する活動費補助(生涯学習係)
評価	①B
成果と課題	<p>①町内27分館の活動支援として補助金を交付しています。それぞれの分館の創意と工夫から、気軽に話し合えるコミュニケーションの場づくりに努めていただいています。しかし、地域の人口減少や少子高齢化により、特に本館事業への参加</p>

	が困難な分館が増えています。また、自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響などにより、本館や分館事業の多くが中止や縮小となっていることから、地域のコミュニティ力の低下が懸念されています。このような状況下で、どのような事業をどのように行っているのか、各分館の活動状況等を情報交換し今後の活動に繋げられる機会を設けるなど、分館活動のサポートをしていきます。
方針 4	自ら学び、共に学び、自己を高める
目標	学ぶ楽しさを分かち合い、夢を持ち活動の輪を広げよう (2) 生涯学習拠点の充実 ②地域学習の充実
主な事業（活動）	①出前講座の実施（生涯学習係）
評価	①C
成果と課題	①令和2年度はコロナ禍で要望はありませんでしたが、分館等への出前講座が大変好評となっていますので、今後も新たなメニューを検討しながら、分館での学習に役立てられるよう継続して実施していきます。



飯綱町コミュニティスクール学校運営協議会の主なご意見

『学校運営協議会』

かつては学校評議会で意見をいただいて学校運営に反映してきましたが、学校運営協議会は「社会総掛かり」で子どもたちを育む体制を作っていくものです。地域住民による学校への支援を充実させ、地域とともにある学校づくりを進めています。

『学校運営協議会の主な役割』

- ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- ・学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること
- ・教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができること

【牟礼小学校】

- 私（委員）の家の近所でも会釈を交わす子どもがいたりして、だんだん心の交流が広がっているように思う。
- 子どもの登校渋りを心配していたが、SC（スクールカウンセラー）等が入っていることを聞き安心した。
- 学校が行っていることが多岐に渡っている。そんな中でも心と体の健康を育てていくことが大切に思う。自分の生まれた土地に対する誇りを持つこともキーワードになるものと思われる。飯綱町の美しさを子どもたちから感じながら育てていくことは大きな自信になる。大人の側からもそのような気持ちが持てるような町づくりをしていくことが大切。
- 発達障害という言葉をよく聞く。持論であるが発達障害は人間誰しも大なり小なり持ち合わせているものと考えている。その人なりの発想が生きる世の中になってほしい。

【三水小学校】

- 旧第二小学校の子どもたちがスクールバス通学となり運動不足が気掛かりだったが、毎週水曜日給食後「いいづなっ子タイム」として清掃なしで30分自由に遊べる時間を確保され、楽しみながら体を動かすことを推進されていることを聞き安心した。
- 学校目標の「楽しみになる学校をつくろう」の基になるのは、充実した今日一日。余裕を持った学校運営ができるとよい。
- しっかりと挨拶をしている子どもが増えているように感じる。子どもと挨拶を交わすことで地域住民も見守っていることを伝え、安心して通学できる町であることを示していくことが大切だと思う。学校での指導が浸透してきているように思う。今後も継続してほしい。
- 「だんごりの会」で子どもたちとかかわっている。食と農の学びで5年生の稲作の学習が行われている。小学生の稲作体験に地元高校生も加わり、異年齢の温かで新鮮な心の交流も図られている。味噌づくりの場面で「発酵とはどういうことか」との質問に答える子どもたちを見て、学習の深まりに感動した。
- 子どもたちに読み聞かせを15年程続けているが、子どもたちは落ち着いて聞いている。今年から朝読書の時間に担任の先生も参加できるようになったことを聞き、うれしく思う。

【飯綱中学校】

- アンケート結果にあるように、先生方が生徒にこまめに声をかけていること、保護者の満足度が高いこと、シトラスリボンの取り組み等のように生徒が地域に目を向けていることなどが良い取り組みだと思う。
- 町の社会福祉協議会が行う生き生きサロンに全校の中学生が参加して住民と交流したことが、地区の活性化につながり大変有難かった。
- 町に心を寄せる子どもの育成に期待している。町には保育園から高校まで揃っていて、お互いが生で見つめることが出来る環境は、自分の進路（キャリア）を考える上でも生きたものになる。保育園から高校まで連携した取り組みを今後も続けてほしい。

- 2年生の職場体験など、子どもたちは社会と触れ合っていく中でいろんなことを考えていく。
シトラスリボン活動やボランティア活動に参画することは、生徒の成長のために大切な学習
になっている。

令和2年度2学期「学校自己評価アンケート」結果（生徒）抜粋

- (1 よくあてはまる 2 あてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない
下段3項目：1 ある 2 ない)

設問	全校			
	1	2	3	4
安心して学校に行くことができている。	75%	21%	4%	0%
学級や学年の仲間の気持ちを考え、居心地のよい集団にしようと心がけている。	68%	31%	1%	0%
楽しく授業に参加し、学習内容はおおよそ理解している。	37%	55%	7%	1%
授業では、友と関わったり、話し合ったりすることを通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	45%	44%	11%	0%
授業では、自分の考えを発現することが多い。	11%	31%	48%	10%
人権学習では、自分や他者の人権を守るための行動について考え、人権意識を高めることができた。	70%	28%	1%	0%
家庭学習は、授業での取り組みや自分の理解度を振り返り、自主的に取り組んでいる。	38%	47%	14%	1%
地域や校内で気持ちのよい挨拶ができている。	67%	30%	3%	0%
先生方は、挨拶や会釈をし、気持ちのよい声掛けを心がけている。	64%	33%	2%	1%
先生方は、生徒が心地よく過ごせるように取り組んでいる。	65%	30%	3%	1%
学校は、生徒が安心して過ごせるように、新型コロナウイルス感染症について、十分な対策を講じている。	72%	25%	2%	1%
今年度になって、いじめや差別を受けた。	0%	100%		
今年度になって、いじめや差別をしたことがある。	0%	100%		
今年度になって、体罰やハラスメントを受けた。	0%	100%		

令和2年度2学期「学校自己評価アンケート」結果（保護者）抜粋

- (1 よくあてはまる 2 あてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない
下段3項目：1 ある 2 ない)

設問	全校			
	1	2	3	4
お子さんは、安心して登校している。	57%	38%	3%	2%
お子さんは、学校で学習したことはおおよそわかっている。	18%	50%	24%	7%
生徒は、地域や校内で気持ちよい挨拶が出来ている。	32%	53%	13%	2%
学校は、生徒が豊かな人間関係を築けるよう、教育活動を工夫している。	32%	64%	4%	1%
学校は、SNS等の利用について、十分な啓発活動を行っている。	29%	62%	8%	2%
学校は、生徒一人一人に寄り添い、生徒の成長のために十分な支援を行っている。	33%	59%	7%	1%
学校の職員は、挨拶や会釈をし、気持ちのよい声掛けを心がけている。	47%	48%	4%	1%
学校は、生徒が安心して過ごせるように、新型コロナウイルス感染症について、十分な対策を講じている。	48%	49%	2%	1%
今年度になって、お子さんはいじめや差別を受けている。	0%	100%		
今年度になって、お子さんはいじめや差別をしている。	0%	100%		
今年度になって、お子さんは体罰やハラスメントを受けた。	0%	100%		

令和2年度飯綱町教育委員会点検・評価に関する 学識経験者の知見について

大川 正俊 氏(元飯綱町教育委員)

方針Ⅰ 個性を生かし共に学び合う学校教育の推進

確かな学力に関しては、小学校においては休校により遅れた学習を、単元配列の組み替えや指導内容の工夫により、例年同様の学習がされました。コロナ禍の中、読書の時間やドリル学習にも取り組まれ、基礎学力の定着に取り組んでられました。中学校においては「質の高い関わり合い」を全校研究テーマに据え、関わり合いの観点を明確にして、生徒間で「必要感のある関わり合い」ができるように指導されてきました。

学びの機会と質の向上の保障については、スクールソーシャルワーカーを(SSW)各校へ派遣し、相談活動は述べ 344 時間に及びました。特に本年度は新型コロナウイルス感染拡大と休校の時期を経て、不安や生活習慣の乱れに起因すると思われる長期欠席や登校渋りが増えたようですが、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー(SC)と連携し、早期対応・早期発見に努められました。今後ますます大切になるものと考えますので、SSW、SC との連携をこれまで以上に深めてほしいと思います。

豊かな心を育てるために、児童会による毎朝のあいさつ運動やあいさつ強化月間を設けて活動されていることは大変大事なことで、今後も継続してほしいと思います。

保小中の連携では、有事の際を想定した児童・生徒の引き渡し訓練を、小中合同で実施し、今後は保育園も含めた訓練を検討しているとのことですが、とても重要なことですので、是非とも保小中連携で実施するようにしてほしいです。また、小学校で外国語活動が始まったことを受け実施した、中学校から小学校へ出向いての出前授業は大きな成果があったようですが、外国語だけに限らず他の教科についても小中連携を一層進めてください。

国の GIGA スクール構想に基づく ICT 環境の整備が加速化し、小学校、中学校に1人1台のタブレット端末と通信環境の整備がされましたが、GIGA スクール構想の目的にある、「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、全ての子どもたちの可能性を引き出すなど、創造性を育み、個々の能力が一層確実に育成できる」ことの実現に向けて積極的な活用を進めてください。そのために、教職員の ICT 研修を進め、スキルアップを図っていくことが重要となってきますので、活用と同時に進めていただくようお願いいたします。

ふるさとを愛する心が育つ教育の推進では、小学校は地域の皆さんに協力をいただき農作物の栽培や歴史・行事・習慣等の学習を行っています。また、中学校では総合的な学習の時間を利用し地域学習などを行っています。これら活動を継続し、さらに子どもたちの郷土を愛する心を育ててください。

コミュニティスクールの運営につきましては、コーディネーターを中心に地域住民や保護者の学校運

営への参画や支援・協力を進め、広く学校運営に関わっていただくことにより、「地域で子どもたちを育てる」環境づくりに一層努めてください。

方針2 子育て・子育て環境の充実

子どもが生き生きと育つ環境づくりとしては、妊娠期から乳幼児期にかけての子どもと母親へのきめ細かなケアが大切です。保健師によるフォロー支援や子育て情報の発信に力を入れてください。また、長野県立大学健康発達学部と連携しての子育て講座の継続もお願いしたいところです。一方では、未満児保育の希望者が年々増加してきていることから、障がい児保育の充実などとあわせ、住民ニーズに対応できる環境整備を望みます。

児童クラブについては、新型コロナウイルス感染症拡大による学校休校中も、家庭で見守りができない子どもたちを受け入れていただき感謝します。今後も安全に運営されることを望みます。なお、各クラブでの利用者数に偏りがあるようですので、保護者の声を聴く中で効率的な運営方法を検討してください。

子育て支援センター、ワークセンターの各機能に加え、母子保健機能の一部を備えた「子育て世代支援施設」が整備されました。本格始動は翌年度からになりますが、子育て世代の拠点となるような運営、情報発信などを期待します。

方針3 スポーツ・芸術・文化活動の充実

公民館活動については、各種大会や講座は新型コロナウイルス感染拡大により、軒並み中止や延期の対応を取らざるを得ない年となったことは致し方ないことですが、学びの場、コミュニティの場として重要な活動ですので、継続して実施してください。

また、文化財の保存・継承・活用に関して、「飯綱町の文化財」の図録を刊行いただきました。記録としても重要ですが、講座や学習支援活動などへの活用も行ってください。なお、合併時からの課題でもありました歴史ふれあい館の展示物の模様替えについても、ようやく動き出したようですので、取りまとめた方針、「町の歴史文化の拠点づくり構想」に基づき推進してください。

方針4 自ら学び、共に学び、自己を高める

生涯学習の充実については、「いいづな大学」及び「いいづな教室」が大変好評ですが、コロナ禍により開催はできませんでした。自ら学び、共に学び、自己を高める格好の場ですので、今後も継続してほしいところです。

公民館図書室と中学校図書館の利用が学生を中心に増加していることは大変喜ばしいことです。今後も蔵書等の内容を充実させるとともに、時代に即した、また、利用しやすい図書運営に努めていただくようお願いいたします。

まとめ

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、入学式直後から町内の小中学校も臨時休業の措置が取られました。5月下旬までの約2か月間の休業を強いられ学校運営が心配されましたが、感染予防に細心の注意を払い、また、各種学校行事も工夫され、子どもたちの学びが保障されたことに感謝します。

時代とともに進化するデジタル化、グローバル化社会に対応した教育を進めるとともに、子供たちが郷土を愛し、大人になっても郷土を誇れるような学習の機会も大切に、そのために教育委員会として何ができるのか、いろいろな機会を通して検討してほしいと思います。また、文部科学省や厚生労働省など国の各種施策も見据えた中で一層の努力をお願いしたいと思います。

なお、法律に定められた自己点検及び評価のほか、多くの人の目であらゆる方面から意見を聴くことが必要であります。今回は、学校教育に関しては学校運営協議会の中で意見等を聴いていますが、加えて保育等子育て支援や生涯学習施策についても、運営委員会等で広く意見を聴取することを希望します。

